

教授

布花原 明子

■ 学歴

1. 2001年 兵庫県立看護大学大学院看護学研究科地域看護学専攻 修了

■ 学位

1. 看護学修士

■ 研究分野

1. 公衆衛生看護学
- 2.
- 3.

■ 研究キーワード

1. 健康危機管理
2. 地域組織活動（地域開発）
3. 高年・若年妊産婦の育児ニーズと支援

■ 研究課題

1. 公衆衛生看護学に関して、感染症の健康危機管理において、特に行政管理職である保健師に求められる役割・機能を考察する。
2. 公衆衛生看護学に関して、母子（親子）保健におけるポピュレーションアプローチを中心に考察する。また、ハイリスクアプローチとの関連についても考察する。

■ 担当授業科目

1. 公衆衛生学（後期） 必修
2. 公衆衛生看護技術論（後期） 保健師課程必修・看護師課程選択
3. 災害看護学（後期） 4年生必修
4. 災害看護学（後期） 2年生選択
5. 公衆衛生看護活動演習（前期） 保健師課程必修
6. 看護総合演習（通年） 必修
- 7.
- 8.
- 9.
- 10.

■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

| | |
|----|---|
| 1. | <p>授業科目名【公衆衛生学】</p> <p>本科目が新設開講されて2年目である。2022年度は講義ノートを作成し、復習できるよう工夫したものの、定期試験の結果、再試験者数が約2割を超えた。そのため、授業の最後に毎回の授業のキーワードや公衆衛生の指標について、()埋め問題を提示し、知識を再確認する時間を設けるよう工夫した。また、学びの個別化を促進するために、毎回の授業後の質問は、その日のうちにメール等で回答した。それらの結果、定期試験の結果、再試験者は半分以上に減少した。</p> |
| 2. | <p>授業科目名【公衆衛生看護技術論】</p> <p>公衆衛生看護の対人支援に関する知識、理論、技術について講義を中心に授業を実施した。毎回、講義のキーワードを提示し、基本的な知識、理論を講義した後に事例を提示し、学生が知識や理論を事例に活用して考える機会をつくり、理解を深められるように工夫した。教材動画コンテンツを活用し、講義、視聴、ワークを組み合わせ進めた。</p> |
| 3. | <p>授業科目名【災害看護学】4年生</p> <p>災害看護に関する基本的な知識と実践活動を紹介し、学生が卒後の進路を意識して、災害看護への関心、意欲を高めることができるように工夫した。地域、病院、災害支援組織における災害看護活動の実際と看護の役割について、災害看護の活動経験をもつ医療者を講師に招き実践的な授業を進めた。</p> |
| 4. | <p>授業科目名【災害看護学】2年生</p> <p>新カリキュラムでは低学年開講に変更されたため、対象特性に応じた災害看護技術や、疾病をもつ人を対象とした災害看護の特徴に関しては調べ学習課題とした。それに変わり、生活者として防災意識を高められるよう、大学近隣の防災マップの作製を行う参加型授業を実施し、災害看護への関心、意欲を高められるよう工夫した。また、災害看護事例を用いて災害に求められる看護職の役割を自覚できるよう工夫した。</p> |
| 5. | <p>授業科目名【看護総合演習・実習】</p> <p>実習では、実習企業の現場で生じている事象に関して、健康課題の分析を行い、課題と施策を立案し、福利厚生を担当部署役職者へのプレゼンテーションを実践した。実習指導者が、学生の実習指導をスムーズに行えるよう、情報共有しながら役割を分担し工夫した。実習前後の演習では、学生主体の進行に対してファシリテートできるよう心掛けた。</p> |

■ 学会における活動

| | 加入時期 | 所属学会等の名称 | 役職名等（任期） |
|----|----------------|------------|----------|
| 1. | 1995年4月～現在に至る | 日本公衆衛生学会 | |
| 2. | 2001年3月～現在に至る | 日本看護科学学会 | |
| 3. | 2001年10月～現在に至る | 日本地域看護学学会 | |
| 4. | 2002年3月～現在に至る | 日本看護学教育学会 | |
| 5. | 2014年4月～現在に至る | 日本公衆衛生看護学会 | |

■ 研究業績等に関する事項（2023年度）

| 発行又は 発表の年月 | 著書、学術論 文等の名称 | 単著・ 共著の別 | 発行所、発表雑 誌等又は発表学 | 概要 |
|---------------|-----------------|-------------|--------------------|----|
| | | | | |

| | | | | 会等の名称 | |
|---------------|--|--|--|-------|--|
| (著書) | | | | | |
| 1. | | | | | |
| 2. | | | | | |
| 3. | | | | | |
| (学術論文) | | | | | |
| 1. | | | | | |
| 2. | | | | | |
| 3. | | | | | |
| (翻訳) | | | | | |
| 1. | | | | | |
| 2. | | | | | |
| 3. | | | | | |
| (学会発表) | | | | | |
| 1. | | | | | |
| 2. | | | | | |
| 3. | | | | | |

■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

| (1) 共同研究 | | | | |
|-----------------|------|------|--------------------|-----------------|
| | 研究題目 | 交付団体 | 研究者 ○代表者（）内は学外者 | 交付決定額 (単位：円) |
| 1. | | | | |
| 2. | | | | |
| 3. | | | | |

| (2) 個人研究 | | | | |
|-----------------|------|------|-----------------|----|
| | 研究題目 | 交付団体 | 交付決定額 (単位：円) | 備考 |
| 1. | | | | |
| 2. | | | | |
| 3. | | | | |

■ 社会における活動

| | 任期 期間等 | 団体・委員会等の名称 (内容) | 役職名等 |
|----|---------------|--------------------|------|
| 1. | 2010年4月～現在に至る | 北九州市保健所運営協議会 | 委員 |

| | | | |
|----|-----------------|-----------------|------|
| 2. | 2017年4月～現在に至る | 北九州市介護保険認定審査会 | 審査委員 |
| 3. | 2020年4月～現在に至る | 北九州市社会福祉法人審査会 | 審査委員 |
| 4. | 2023年4月～2024年3月 | 北九州市健康危機対処計画検討会 | 委員 |
| 5. | 2023年4月～現在に至る | 認定看護管理者教育課程 | 講師 |

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

| | 任 期 期 間 等 | 会議・委員会等の名称 (内 容) | 役 職 名 等 |
|----|-----------------|-------------------------|---------|
| 1. | 2022年4月～2024年3月 | 看護学科国家試験対策担当 | 責任者 |
| 2. | 2022年4月～2024年3月 | 看護学科プロジェクト「学力向上」チーム運用担当 | リーダー |
| 3. | 2023年4月～2024年3月 | 看護学科3年生アドバイザー | |